

日本養鰻漁業協同組合連合会

静岡県駿河区稲川 1 丁目 1 - 3
 (静岡駅前ビル 2 階)
 TEL(054)202-0218 FAX(054)202-0235
 E-mail:wbs35076@mail.wbs.ne.jp

F A X

送 信 先	台北駐日経済文化代表处 経済部 次長 郭 様	発 信 元	日本養鰻漁業協同組合連合会 若 林 稔
送 付 数	2 枚 (本稿ふくむ)	日 付	平成 20 年 10 月 23 日
用 件 : 養鰻場視察について			

☐至急! ☐ご参考まで ☐ご確認ください ☐ご返信ください ☐ご回覧ください

平素よりお世話になっております。

さて、標記件につきまして、別紙のとおり送信いたします。

6.00
5.50

養鰻場視察について (20.10.23)

1 視 察 日 2008 年 10 月 25 日 (土)

2 視察場所 静岡うなぎ漁業協同組合

(静岡県榛原郡吉田町片岡 7 4 3 - 1) TEL0548-32-1151

3 参加者名簿

台湾側

- (1) 行政院農業委員会漁業署 副署長 陳 添寿先生
 (2) 台北駐日経済文化代表処經濟部 次 長 郭 慶老先生
 (3) 台湾区鰻鰻生産合作社連合社 理事主席 李 華洋先生
 (4) 台南県鰻鰻生産合作社 理事主席 洪 啓峰先生
 (5) 嘉義県鰻鰻生産合作社 前理事主席 顏 樹根先生
 (6) 台湾区鰻鰻生産合作社連合社 総経理 徐 宗仁先生

日本側 (予 定)

- (1) 日本養鰻漁業協同組合連合会 代表理事会長 大岡 宗弘
 (2) " 副会長 白石 嘉男
 (3) " 副会長 河邊 義昭
 (4) 静岡うなぎ漁業協同組合 理 事 岩ヶ谷 博
 (5) 日本養鰻漁業協同組合連合会 参 事 若 林 稔

4 行 程 (案)

時 間	行 程	内 容
09:03	JR 東京駅 出発	・ ひかり 365
10:06	JR 静岡駅 到着	・ 待ち合わせ場所：新幹線改札口 (日鰻連若林が出迎えます) ・ マイクロバスで静岡うなぎ漁協に向います
11:00	組合視察 養鰻場視察	
12:00	昼 食	・ 本会正副会長も出席し、昼食を取りながらの懇談を考えております
13:30	吉田 出発	・ マイクロバスで JR 静岡駅に向います
14:10	JR 静岡駅 到着	・ ひかり 372
14:36	" 出発	
15:40	JR 東京駅 到着	

日本における鰻の消費拡大活動について

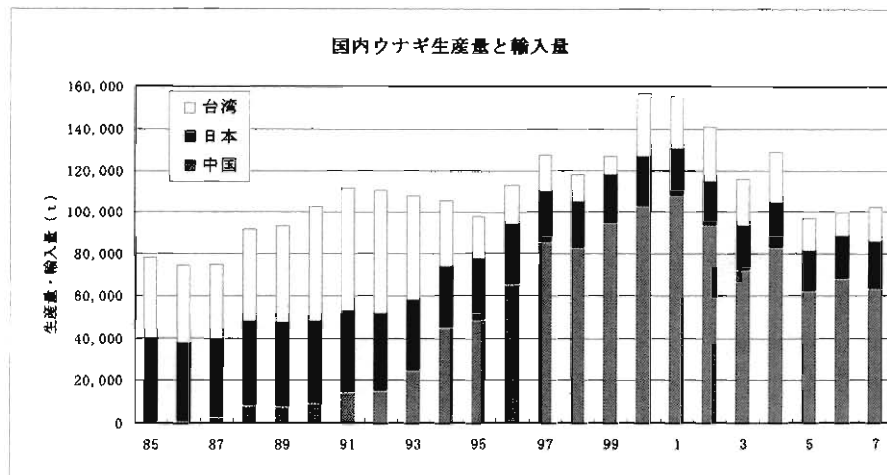
- (1) 日本の鰻生産量と輸入量
- (2) 養鰻組合の直営店
- (3) 各地のイベント
- (4) 販売促進グッズ
- (5) HPの活用

Goods

日本養鰻漁業協同組合連合会

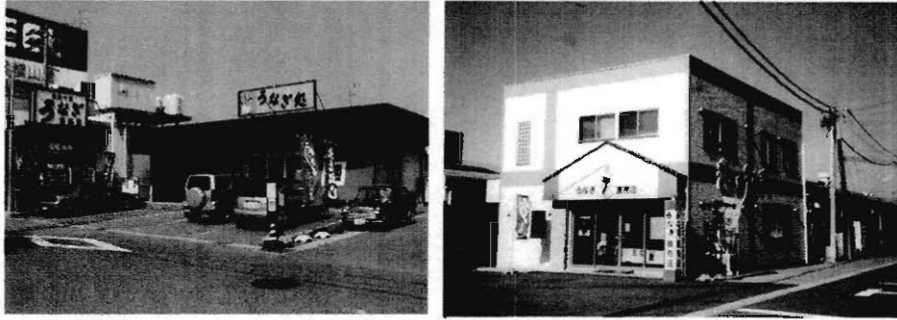
- ・ 本日は、話題提供として、日本における消費拡大活動について報告いたします。
- ・ 内容は、(1) 日本の鰻生産量と輸入量、(2) 養鰻組合の直営店、(3) 各地のイベント、(4) 販売促進グッズ、(5) HPの活用です。

日本の鰻生産量と輸入量



- これは、日本の生産量と台湾・中国からの輸入量のグラフです。
下の、青色が中国、中間の赤が日本、黄色が台湾です。
- 日本への鰻供給量が、最大となったのは、2000年、2001年おおよそ16万トン近い供給量があり、活鰻相場が大暴落しました。
- 台湾は、91年、92年には6万トン近い輸入量がありましたが、99年には1万トン以下にまで減少し、2007年は、1万6千トンでした。
- 中国は、2001年には10万8千トンの輸入量がありましたが、近年は、6万トン～7万トンの間で推移しています。
- 日本は、最盛期(1989年)には4万トン近い生産量がありましたが、近年は、2万トン～2万5千トンの間で推移しています。
- 日本への総供給量は、ここ数年10万トン前後で推移しています。

養鰻組合の直営店



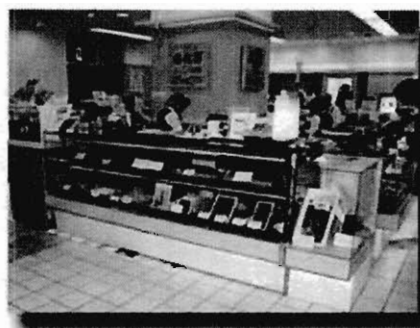
一色うなぎ漁協直売所(計3店舗)

- ・ 次に養鰻組合の直営店について説明します。
- ・ 各養鰻組合では、鰻の間屋さんに活鰻や加工品の販売を行っておりますが、その他にも養鰻組合の加工場で作った製品を食べさせる食堂や直売所を持っています。
- ・ これは一色うなぎ漁協の直営店で、全部で3店舗の直売所を持っています。



静岡うなぎ漁協直売所

- これは、静岡うなぎの直売所で、鰻弁当なども販売しています。



浜名湖養魚漁協の直営店(計4店舗)

- ・ 浜名湖養魚漁協では、計4店舗の直営店を経営しています。

各地のイベント

浜名湖花博



連日1時間待ちの長蛇の列が出来た

- ・ 次に、各地のイベントですが、これは、2004年に静岡県の浜名湖で開催された「浜名湖花博」の様子です。
- ・ 半年間の開催で、約550万人の入場がありました。
- ・ 「浜名湖花博」では養鰻組合が「浜名湖うなぎ館」という食堂を出し、毎日、長蛇の列が出来、1時間待ちはあたりまえであったとの話を聞きました。

一色うなぎ漁協



まんてん君



実演販売

- ・ 一色うなぎ漁協のマスコット「まんてん君」です。
- ・ 各地で開催されるイベントには、養鰻組合や生産者が積極的に参加し、蒲焼や鰻弁当の販売、また、子供向けに鰻の掴み取りなどを行っています。

豊橋まつり



地域の祭での鰻弁当の販売

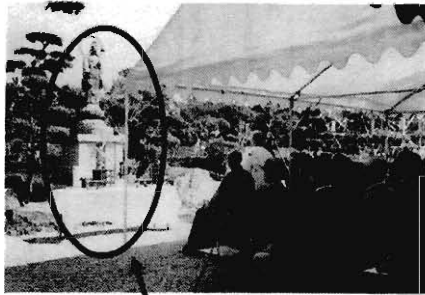


子供を対象とした鰻の掴み取り

- これは、豊橋養鰻漁協が参加した「豊橋まつり」の様子です。

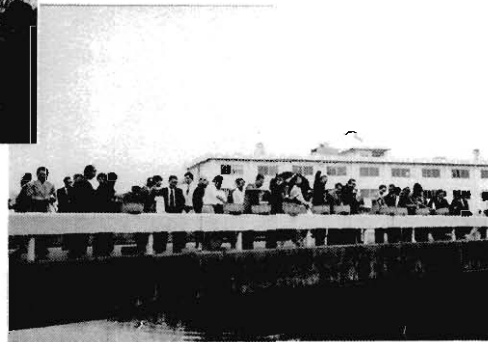
5570人/3天

鰻の供養祭



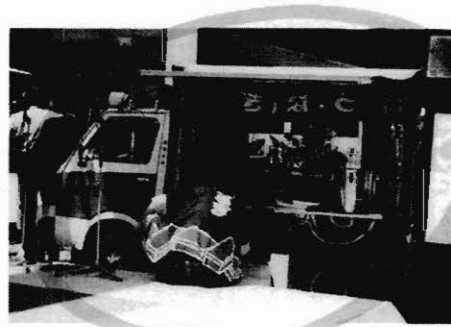
供 養 祭

供養祭後の鰻の放流



- これは静岡うなぎ漁協鰻の供養祭の様子です。
- 多くの養鰻組合には、供養塔があり、7月の土用丑後に、鰻の供養祭を開催し、終了後に鰻の放流を行っています。
- これは、消費拡大事業ではありませんが、マスコミの取材が多くあります。
- また、このように機会あるごとに養鰻組合では、鰻の放流を行っています。

東京新宿での蒲焼真空パック無料配布



- ・ これは、だいぶ前に日鰻連が東京の新宿で、蒲焼の真空パックを無料配布した様子です。
- ・ これは、鰻の焼き器を積んだ車です。
- ・ その場で、鰻を焼き来場者に試食をさせました。
- ・ このイベントには、多くのマスコミが取材に来ました。

寒の土用丑の日 長野県岡谷市

・冬の商売閑散期に活性化を図る
(うなぎで街おこし)



寒の土用丑の日



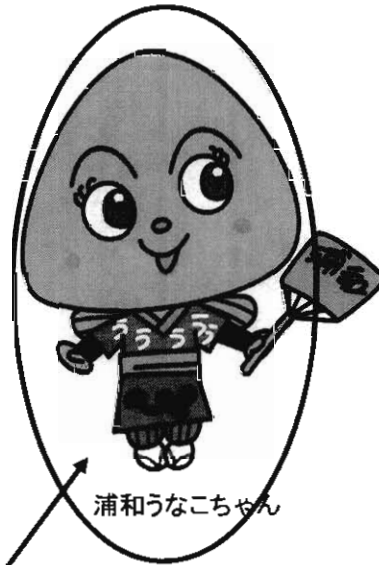
諏訪太郎

- ・ これは、長野県の岡谷市という町が「寒の土用丑の日」のPR活動をしている様子です。
- ・ のぼり旗やマスコットキャラクターも作成しています。
- ・ 「寒の土用丑の日」のPR活動の理由は色々あるようですが、この地域は冬が寒く、冬の商売閑散期に町の活性化を図り、鰻で町おこしをすることが、目的のようです。

うなぎまつり
埼玉県（旧）浦和市



うなぎまつりの様子



浦和うなぎちゃん

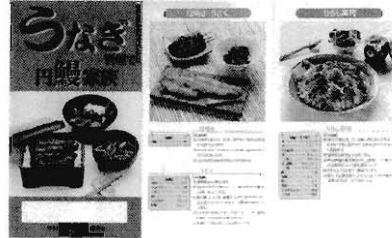
- これは、埼玉県の浦和というところで行っているイベントです。
- この町の近郊には沼地が多く昔から鰻を食べる習慣があり、20軒ほどの鰻屋さんが、鰻を通して町づくりをしているとのこと。
- なお、これは「浦和のうなぎちゃん」というキャラクターですが、日本の有名な漫画の描いた絵です。

販売促進グッズ

日 鰻 連



ポスター



料理小冊子



豆知識の小冊子

- ・ 続いて、販売促進グッズですが、これは日鰻連で作成しましたポスター、鰻料理の小冊子、鰻の栄養や鰻の生活史、養殖の歴史などを集めた小冊子です。

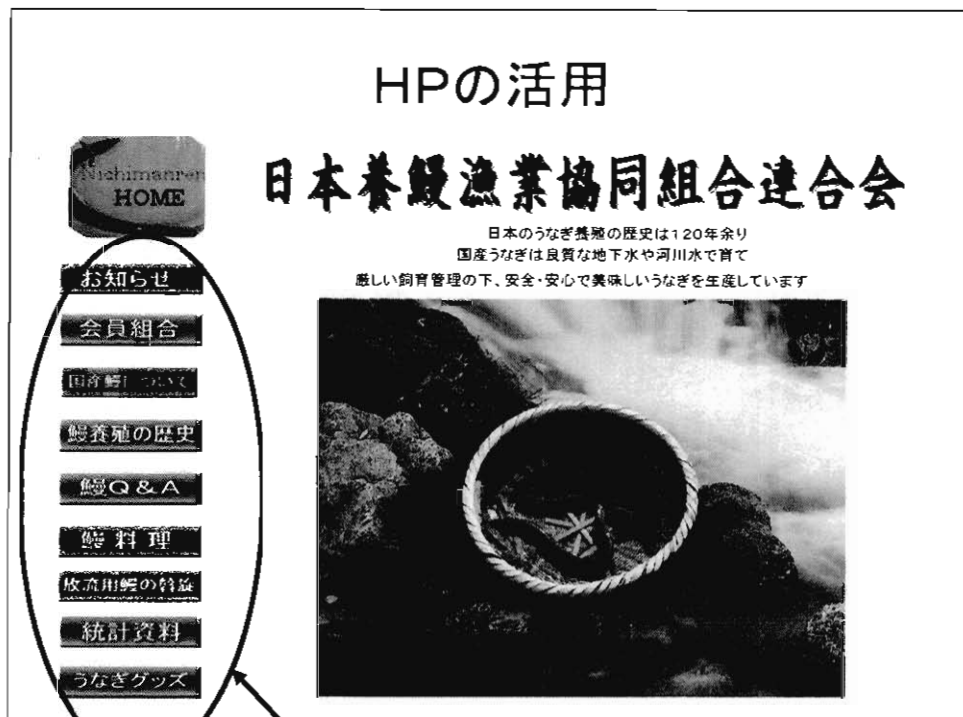


- 上部が元大井川養殖漁協、下部が元中遠養鰻漁協で作成したパンフレットです。いずれも鰻の料理や養鰻組合で取り扱っている商品を紹介しています。

うなぎTシャツ



- これは、鰻Tシャツで、この奇抜なアイデアは愛知県の一色うなぎ漁協で作成したものです。
- 一番左が、一色町の町長さんで、左から2番目が大岡会長です。



- ・ これは本会のHPです。
- ・ 会員組合の紹介や国産鰻のPR、養鰻の歴史、統計資料などを掲載してあります。
- ・ 多くの組合がこのようなホームページを持っており、組合の鰻加工品の宣伝や販売を行っています。



- ・ 一色うなぎ漁協のHPで、組合のロゴマークが入っています。



- ・ 元焼津養鰻漁協のHPで、代表する商品名が入っています。

豊橋養鰻漁業協同組合

いらっしゃいませ！豊橋養鰻漁業協同組合です

右のボタンからどうぞ！



●組合について

●養鰻業について

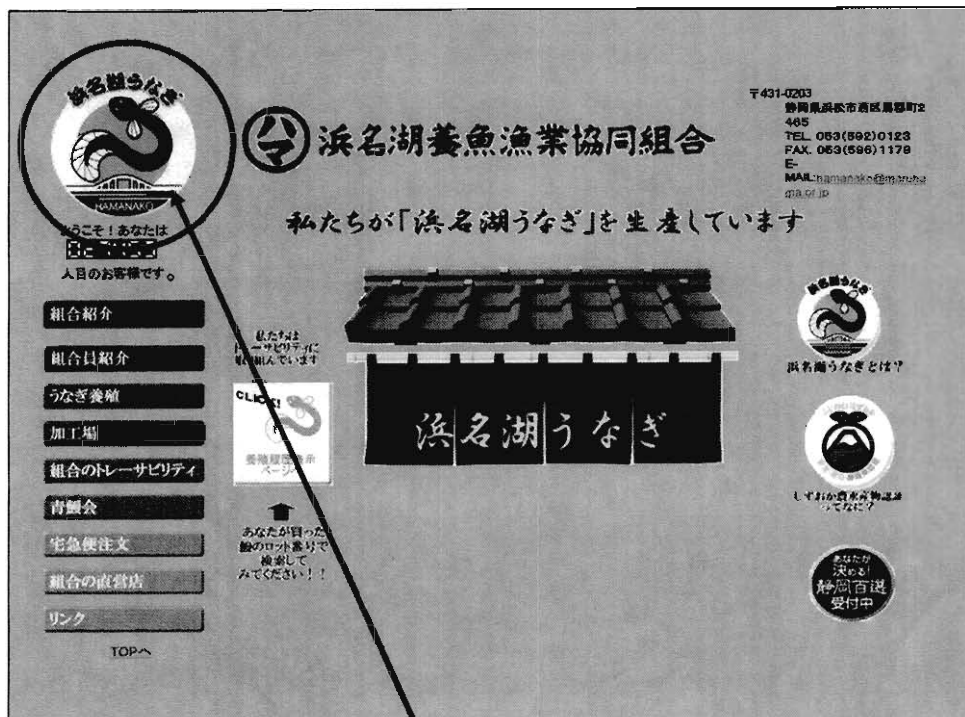
▶うなぎ売ってます！

▶おいしい食べ方

●リンク

お知らせ

- ・ これは、豊橋養鰻漁協のホームページです。



- ・ 浜名湖養魚漁協のHPで、組合のロゴマークが入っています。